

会 議 録

会 議 名	令和6年度第2回東松山市文化財専門調査員会議					
開 催 日 時	令和6年10月21日（月）		開 会	13時30分		
			閉 会	15時15分		
開 催 場 所	東松山市総合会館3階 302会議室					
会 議 次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 令和6年度事業進捗状況について (2) 令和6年度指定文化財パトロール中間報告 (3) 令和7年度事業計画（案）について 4. 報告 5. その他 6. 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍 聴 者 数		0人		
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	議長	榎本 榮一	出席	調査員	原田 吉樹	出席
	調査員	新井 裕子	出席	調査員	坂野 千登勢	欠席
	調査員	榎本 直樹	出席	調査員	横山 晋一	欠席
	調査員	中澤 利雄	出席			
事 務 局	柳沢 知孝 生涯学習部長			矢口 翔馬 埋蔵文化財センター主任		
	上 敏文 生涯学習課課長			小笹 裕美 埋蔵文化財センター主任		
	佐藤 幸恵 埋蔵文化財センター所長					

次 第	顛 末
1.開 会	佐藤所長
2.あいさつ	榎本榮一議長
会議の公開、会議録署名委員の指名	<p>○会議の公開、傍聴人、会議録署名委員の指名について （佐藤所長）会議を公開とするか非公開とするか、傍聴人の申込みがなかったこと、会議録の署名委員を指名することについて、説明 ・会議については公開、傍聴人は申込がなかった、会議録署名委員は中澤調査員と榎本直樹調査員を指名することについて、全員了承。</p>
3.議 題	<p>（１）令和6年度事業進捗状況について</p> <p>●文化財啓発事業 （矢口主任）説明。 質問なし。</p> <p>●文化財保存事業 （矢口主任）説明。 質問なし。</p> <p>●文化財調査事業 （矢口主任）説明。 （新井委員）仲城遺跡発掘調査について、仲城遺跡発掘では今のところ何か面白い出土遺物は出てきているのか？ （矢口主任）出土遺物については、古墳時代後期の土器、あるいはカマドの跡などが見つかっている。一番特徴的なのは規模の大きな住居が出てきていて、その住居のうち1軒は、カマドを作り変えている痕跡があり、ある程度長い期間その住居を使っていたという痕跡が見つかっている。その他に管玉や石鏃等小さいものが見つかっているが、石鏃は縄文時代の資料である。出土遺物は今後整理し、洗浄作業をすともう少しよく分かってくると思う。 （新井委員）なぜその場所に遺跡があると分かったのか。 （矢口主任）昭和59年から60年にかけて、東松山市内の分布調査を実施し、現地を歩いて遺物が落ちてないか探す作業をしており、実際仲城遺跡の畑にたくさん土器が落ちているという状況を確認していたので、埋蔵文化財包蔵地にしていたという状況である。 過去には試掘調査も何件か行い、集落跡が出てきており、試掘で埋蔵文化財が出ても、埋蔵文化財の保存ができれば発掘調査はせずに保存ができてきたが、今回はどうしても保存ができないということで、や</p>

むを得ず発掘調査に至った。

(新井委員) 分かりました。

●埋蔵文化財センター運営事業

(矢口主任) 説明。

質問なし。

(2) 令和6年度指定文化財パトロール中間報告

(新井調査員) 解説板と標柱を確認してきたが、野本八幡神社の絵馬については、解説板が見にくくなっていた。箭弓稲荷神社には、標柱が2つある(箭弓神社社殿・手水舎と手水鉢)が、絵馬に標柱がない。現在取りはずされている前の解説板の時も最後に絵馬が指定文化財になっているというだけ書かれていたので、今回はどんな形の書き方をされるか期待があるのと、絵馬については標柱を作らないのか疑問がある。

永福寺の制札の解説板は、新しいので良好であると確認した。

(矢口主任) 箭弓稲荷神社の解説板は元の支柱に板面をつけ変える予定。問題となっているのが箭弓稲荷神社の絵馬8点の名称で、少し内容と名称が違うのではというものがいくつか出てきている。絵馬について名称が適切か、また他にもたくさん絵馬があるのになぜ8点だけ指定なのか、また今後どのように収蔵していくのかも含めてよく調べてから東松山市として公式見解をきちんと出していこうと考えている。

解説板については、今年度事業で実施をするので、指定文化財になっている本殿・幣殿・拝殿、手水舎、絵馬の概要を示すものを看板として記載し、その中に2次元コードをそれぞれ付して、東松山市ホームページに移行して、より詳しい内容が分かるようにしようと思っている。絵馬については新しい成果が出次第ホームページを更新することで、より詳しい情報が得られるという形にしようと思っている。標柱についてもご指摘のとおりで、新設でなく今ある標柱の軸を使って、その上に貼り付ける修繕で、本殿・幣殿・拝殿で1本、手水舎と絵馬を並列に記載した1本で修繕を進める事業も一緒にこの解説板と修繕する形で対応する。

(榎本榮一調査員) 愛染明王について確認してきたが、本体・標柱は特に問題なく、周辺の草も刈られていて良好であった。

次に毛塚の石仏については、周辺の除草が行き届かなくなってきたおり、石仏までの道が整備されていない。見に行きたい方が行っても分かりにくくなっている。標柱は問題なかった。

次に毛塚薬師如来座像については、御堂にあるので問題なく、標柱・解説板も問題はなかった。道標「八王子道」、「奉納経拜礼供養塔」は並んで建っているが、問題はなかった。

(榎本直樹調査員) 宮鼻の獅子舞道具一式について、文化財保存活用地域計画の 76 ページに載っている写真が指定文化財になっているものだがこれは古いもので、実際に使われていたのはこの後の代の獅子頭で、2組存在する。実際の状況は4月7日に行って見せていただき、午前9時前から準備を始め、倉庫に入っているものを全部出して、昔のような飾り付けをして10時から神事が行われた。お祭りが終わるとまた箱に入れて蔵に戻し、物品それぞれに確認していたので指定文化財の保存について宮鼻地区は全く問題なかった。

また7月28日に行われた神戸の獅子舞、下唐子の獅子舞を確認してきたが、非常に暑く地元の方も苦労されている様子だった。

(中澤調査員) 割り当てられた6件すべて確認してきた。八幡神社の大樫、玉太岡神社のムクノキ、なんじゃもんじゃの木は今後十分注意していく必要があると思っている。

全体的に管理は、地域の方が大変面倒見ている様子である。

(原田調査員) 観音下の清水は、落ち葉が溜まってしまっている。倒れた木など掃除していただければ、問題ない。

武蔵野礫層からの湧出状況については、変化がなかった。

(3) 令和7年度事業計画(案)について

(矢口主任) 説明。

質問なし。

4.報 告	○東松山市指定史跡「三千塚古墳群」について
5.その他	ミツガシワについて 箭弓記念館について 次回会議日程について
あいさつ	柳沢生涯学習部長
6.閉 会	佐藤所長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和6年11月11日 署名委員 <u>榎本 直樹</u></p> <p>署名委員 <u>中澤 利雄</u></p>	